

令和 8 年度 当初予算の概要

※端数処理の関係上、合計数値が合わない場合があります。

令和 8 年度は、「第 7 次焼津市総合計画」の初年度にあたり、「焼津未来デザイン」で示した目指すべきまちの姿や状態などを実現するため、新たな時代にふさわしいまちづくりの基本方向を体系的に示すとともに、目指す将来都市像の実現に向け策定した「やいづ共生プラン 2026」に掲げる施策を効果的・効率的に推進する予算編成を行いました。

一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額は、前年度当初より 25 億 3,640 万円多い 1,305 億 6,772 万円となりました(表1)。

問合せ 財政課 ☎626-2142

【一般会計】歳入

一般会計の歳入のうち、市税は、給与所得の増加などから、前年度に比べ 2 億 9,000 万円(1.4%)増の 209 億 9,600 万円となりました。

寄付金は、ふるさと納税寄付金を前年度と同額の 100 億円を見込みました。

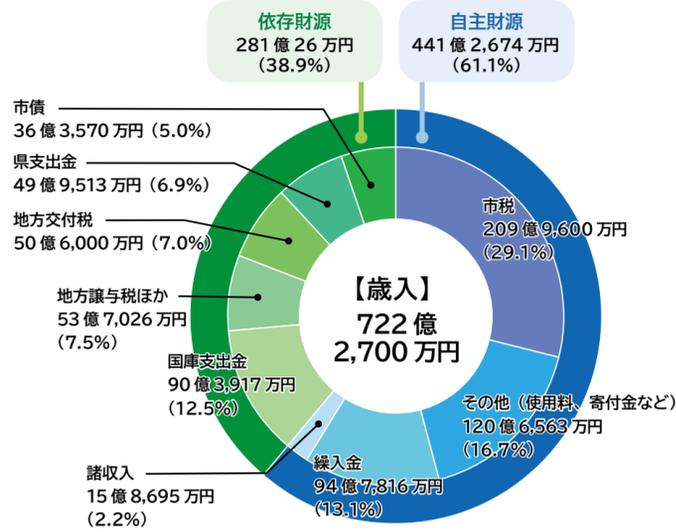
地方交付税は、国の地方財政計画において増額となる見込みから、6 億円(13.5%)増の 50 億 6,000 万円を見込み、市債は、前年度に比べ 7,210 万円(1.9%)減の 36 億 3,570 万円となりました。

【表 2】市税収入の内訳(税目別)

税目	当初予算額	増減率
市民税	90 億 6,760 万円	2.4%
個人市民税	78 億 9,600 万円	2.7%
法人市民税	11 億 7,160 万円	0.8%
固定資産税	94 億 3,950 万円	0.4%
軽自動車税	4 億 6,160 万円	▲0.3%
市たばこ税	8 億 1,500 万円	2.0%
鉱産税	3 万円	▲7.4%
入湯税	2,880 万円	44.0%
都市計画税	11 億 8,347 万円	1.2%
合計	209 億 9,600 万円	1.4%

【表 1】当初予算の総額

種別	当初予算額	増減額・率(対前年比)
一般会計	722 億 2,700 万円	4,500 万円 (0.1%)
特別会計	315 億 3,140 万円	17 億 7,070 万円 (5.9%)
企業会計	268 億 932 万円	7 億 2,070 万円 (2.8%)
合計	1,305 億 6,772 万円	25 億 3,640 万円 (2.0%)



【一般会計】歳出

主な増減の内訳(目的別)

最も多い 30.6% を占める民生費は、「民間保育所等給付費」や「障害者自立支援給付事業費」などの増額により、前年度に比べ 11 億 5,602 万円(5.5%)増の 221 億 2,317 万円となりました。

衛生費は、「志太広域事務組合ごみ処理施設運営事業費」などの増額により、前年度に比べ 9 億 3,688 万円(10.9%)増の 95 億 6,157 万円となりました。

教育費は、「小学校猛暑災害対策事業費」などの減額により、前年度に比べ 10 億 9,234 万円(12.9%)減の 73 億 4,970 万円となりました。

市の借金の返済に当たる公債費は、前年度に比べ 3 億 4,837 万円(8.5%)増の 44 億 4,353 万円となりました。

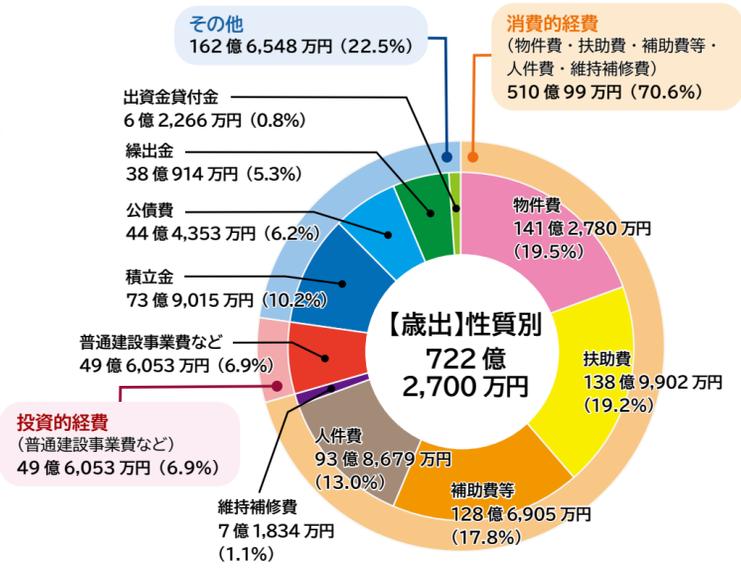
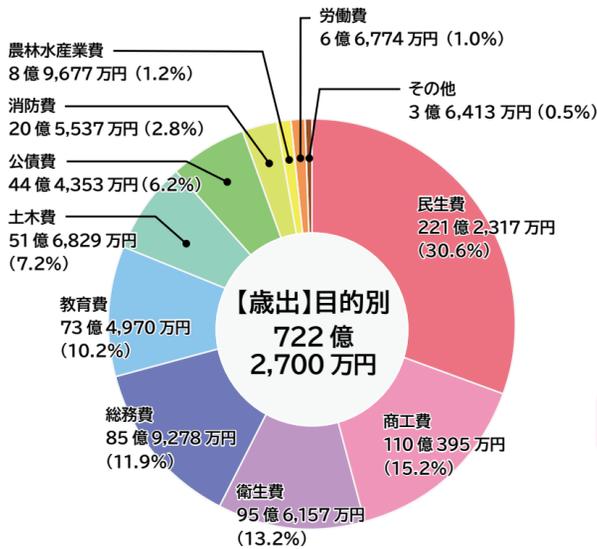
主な増減の内訳(性質別)

最も多い物件費は、物価高騰などの影響による委託料等の増額により、前年度に比べ 2 億 341 万円(1.5%)増の 141 億 2,780 万円となりました。

扶助費は、「民間保育所等給付費」などの増額により、前年度に比べ 1 億 7,242 万円(1.3%)増の 138 億 9,902 万円となりました。

補助費等は、「志太広域事務組合ごみ処理施設運営事業費」などの増額により、前年度に比べ 6 億 5,999 万円(5.4%)増の 128 億 6,905 万円となりました。

普通建設事業費は、「小学校猛暑災害対策事業費」などの減額により、前年度に比べ 17 億 1,405 万円(25.7%)減の 49 億 6,053 万円となりました。



【特別会計・企業会計】

「特別会計」とは、特定の事業を行うために一般会計と区別して設ける会計で、8つの特別会計があります(表3)。

「企業会計」とは、特定の事業をその事業収入で経営する会計で、3つの企業会計があります(表4)。

【表 3】特別会計の内訳

特別会計	会計名	当初予算額	増減率
特別会計	し尿処理事業	5 億 2,790 万円	8.4%
	土地取得事業	4 億 7,620 万円	1.7%
	国民健康保険事業	131 億 4,120 万円	4.7%
	温泉事業	4,970 万円	▲52.2%
	駐車場事業	1,480 万円	1.4%
	介護保険事業	136 億 4,720 万円	4.8%
	後期高齢者医療事業	27 億 2,090 万円	10.7%
	港湾事業	9 億 5,350 万円	43.8%
合計	315 億 3,140 万円	5.9%	

【ふるさと納税寄付金】

全国の多くの皆さんに焼津市を選んでいただき、寄付をいただいています。本市では、いただいた寄付のうち、経費を除いた約半分を基金に積み立て、「子育て・教育」をはじめ、「観光・交流・産業」や「健康」、「防災・治水」の

【表 4】企業会計の内訳

企業会計	会計名	当初予算額	増減率
企業会計	水道事業	46 億 2,770 万円	▲7.4%
	病院事業	186 億 6,116 万円	6.0%
	公共下水道事業	35 億 2,046 万円	0.8%
合計	268 億 932 万円	2.8%	

【表 5】ふるさと納税寄付金を活用する主な事業

活用事業	活用額	
子育て・教育 14 億 5,217 万円	子ども医療費助成	4 億 8,402 万円
	小学校教育 ICT 環境整備事業	2 億 6,336 万円
	小・中学級支援員配置事業	1 億 7,142 万円
	子育て世帯等定住促進住宅取得支援事業	1 億 200 万円
	放課後児童クラブ運営事業(単独分)	7,089 万円
	その他の事業	3 億 6,048 万円
観光・交流・産業 10 億 7,749 万円	新焼津体育館建設事業	2 億 9,409 万円
	産業立地促進事業助成	2 億 710 万円
	地域おこし産品開発支援事業	1 億円
	豊田地域交流センター整備事業	5,987 万円
	DX 推進事業	5,051 万円
	その他の事業	3 億 6,592 万円

4つの分野で寄付金を活用した地域振興を図っています。寄付していただいた皆さんの温かい思いを実現するために、今年度は約 61 億 8,934 万円を各種事業に活用します(表5)。

活用事業	活用額	
健康 21 億 8,747 万円	新病院建設事業(建設分)	13 億円
	新病院建設事業(将来負担分)	5 億円
	病院事業会計繰出金	3 億 366 万円
	大井川庁舎改修事業	5,525 万円
	健康・デジ活推進事業(地方創生)	2,144 万円
防災・治水 14 億 7,221 万円	スマイルライフ推進センター整備事業(健康づくり)	712 万円
	会下ノ島石津土地区画整理事業	4 億 1,071 万円
	港湾事業特別会計繰出金	2 億 8,126 万円
	公共下水道事業会計繰出金	1 億 7,118 万円
	自主運行バス運営事業	1 億 2,955 万円
バス路線維持特別対策事業	1 億 2,332 万円	
その他の事業	3 億 5,619 万円	

【ふるさと納税寄付金】これまでの活用事業(一例)

■子育て・教育

■ターントクルこども館を整備

子育て支援の拠点施設として「ターントクルこども館」を整備し、子どもたちが安心して遊び、学べる環境を整えました。



■小中学校体育館のエアコンを整備

全小中学校 22 校の体育館へエアコンを設置しました。体育館は授業だけでなく、災害時の避難所としても使用されます。



■小中学校校舎のトイレを洋式化

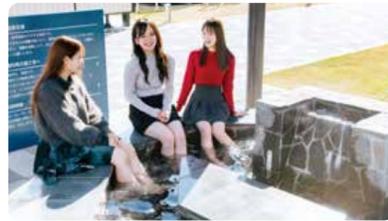
全小中学校 22 校の校舎内トイレを洋式化しました。学校の衛生環境の向上や、児童生徒の精神的な安定につながっています。



■観光・交流・産業

■焼津温泉足湯「ととゆ」を整備

市役所本庁舎前に焼津温泉足湯「ととゆ」を整備しました。源泉 100 杯の足湯が楽しめるほか、市民の憩いの場にもなっています。



■陸上競技場メインスタンドを整備

陸上競技場メインスタンドをリニューアルし、地域スポーツの振興を支える、誰もが集い躍動する場へと進化を遂げました。



■防災・治水

■緑の防潮堤「潮風グリーンウォーク」を整備

栃山川から大井川港まで約 5.1 ㎞の「緑の防潮堤」を整備しました。想定される最大クラスの津波の被害を軽減し、市民の命を守ります。

